

海外旅行を予定している皆さまへ

海外で、**はしか（麻しん）**にかからない！
海外から日本へ、**はしか**を持ち込ませない！
日本で、**はしか**を流行らせない！

麻しん・風しん（MRワクチン）の予防接種を受けたことがない人はもちろん、
1回受けたことがある人も、2回目の予防接種を受けましょう。

（2回の予防接種が済んでいる方や、麻しんにかかったことがある方は免疫があるとされています。）

自分が感染しないためだけでなく、

家族や学校など身近な周囲へ感染を広げないためにも **予防接種** は有効です。

【麻しんの定期接種（無料）】

- 昭和 53 年 : 1 回接種が 1 歳児に対し開始
- 平成 18 年 6 月 : 2 回定期接種（無料）が 1 歳児及び小学校入学 1 年前の児童に対し開始
※平成 20 年度～平成 24 年度 中学生・高校生に対し 2 回目の接種が定期接種に追加（5 年間）

◆予防接種歴・罹患歴の確認方法◆

昭和 41 年に麻しんワクチンの任意接種が開始されましたので、ご自分の母子健康手帳によりワクチン接種の有無をご確認いただくか、又は、実際に麻しんにかかったことがあるかをご両親にご確認ください。なお、医療機関で麻しんの抗体価を測定することでも確認ができます。

<麻しんについて>

麻しんは、空気感染、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示すウイルス感染症で、
感染力が極めて強力で、同じ空間を共有することでも感染する場合があります。

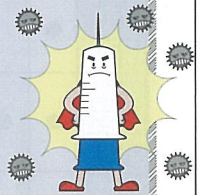
免疫のない人が感染すると、ほぼ100%発病します。

肺炎、脳炎、中耳炎、腸炎等の合併症発症率、入院率が高く、死亡例もあります。

潜伏期は10～14日で、発熱、咳、鼻水、目の症状、発疹のいずれかが出現する前日から
発疹出現後4～5日を経過するまで、周囲に感染する可能性があります。

効果的な治療薬はないため、症状を抑える対症療法が中心となります。

唯一の
予防方法は
ワクチン接種！



ワクチン接種の際は、
かかりつけ医等に
相談しましょう。

<参考事例>

宮崎県では、平成24年8月に海外旅行された方が帰国後、麻しんを発症し、その方に接触された方々が麻しんに感染（二次感染）、さらにその家族が感染（三次感染）し、合計で8名の麻しん患者さんが発生しました。

「宮崎県 麻しん」 [検索](#)

(http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/fukushi/kenko/yobo_sesshu/page00163.html)

<予防接種について>

・定期予防接種対象の方は、速やかに接種しましょう。

「麻しん・風しんの予防接種を受けましょう」 「宮崎県 麻しん・風しん」 [検索](#)

(http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/fukushi/kenko/yobo_sesshu/page00132.html)

○予防接種法に基づく定期予防接種の対象の方は、無料で接種できます。

○定期予防接種の対象でない場合は、任意接種（自己負担）となります。

○妊婦の接種はできません。妊娠していない場合であっても、接種後2ヶ月程度の避妊が必要です。



<参考資料>

・2012年麻疹排除に向けて（国立感染症研究所 感染症情報センター）

「感染症情報センター」 [検索](#) (<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)

別表 海外で注意しなければいけない感染症

主な感染源	注意すべき病名	主な発生地域	滞在地域			予防方法		主な症状			
			リゾート 観光地	郡市部	地方の 町や村	森林・原野	その他	予防接種	発熱	下痢	その他
食べ物 水	★ E型肝炎	世界各地	●	●	●	●	十分火の通った食べ物を食べる 生肉は食べない		●		倦怠感、黄疸（体の皮膚や 白目が黄色になる）
	★ A型肝炎	発展途上地域	●	●	●				●		倦怠感、黄疸（体の皮膚や 白目が黄色になる）
	★ 赤痢	発展途上地域	●	●	●				●	●	激しい腹痛
	★ 腸チフス	発展途上地域	●	●	●				●	●	倦怠感、比較的徐脈 （高熱なのに比較的脈が遅い）
	★ コレラ	発展途上地域	●	●	●				●	●	嘔吐 下痢による脱水
	★ ノロウイルス	世界各地	●	●	●				●	●	激しい嘔吐、下痢
	★ 消化管寄生虫症	世界各地	○	○	○	○	こまめな手洗い 十分火の通った食べ物を食べる		○	○	飲み込みにくい、しゃべりにくい、 全身がけん重
	★ 破傷風	世界各地	○	○	○	○	転倒やケガに注意する		○	○	悪寒、冷汗 頭痛、筋肉痛 意識障害
	★ マラリア	熱帯・亜熱帯地域（アジア ア、アフリカ、中南米）	○	○	●	●	夜間外出を控える 蚊帳の使用 長袖・長ズボンの着用	予防薬（飲み薬）	●	○	目の奥の痛み 筋肉・関節痛、発疹
	★ デング熱	熱帯・亜熱帯地域（アジア ア、オセアニア、アフリ カ、中南米）	●	●	○	○	虫除けローションの使用 室内での蚊取り線香の使用など		●	●	昏睡（痛みや刺激に反応しない） 意識障害、頭痛
蚊	■ 日本脳炎	アジア	●	●	●		虫除けローションの使用 予防接種を受ける		●	●	頭痛、筋肉痛 悪寒、嘔吐
	■ 黄熱	アフリカ 南アメリカ			●	●			●	●	頭痛、筋肉痛 倦怠感、発疹 関節痛、関節のはれ
	■ ウエストナイル熱	北アメリカ アフリカ 中東・アジア	●	●	●	●	虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用		●	●	頭痛、筋肉痛、倦怠感
	■ チクングニア熱	東南アジア 南アジア アフリカ	●	●	●	●			●	●	頭痛、筋肉痛 倦怠感、発疹 関節痛、関節のはれ
動物	■ 狂犬病	世界各地	◆	◆	◆	◆	むやみに動物に觸らない 犬等に咬まれたら速やかにワクチン 接種を受ける 可能であれば、予め狂犬病ワクチン 接種を受ける		●		治療した受痛部の痛み 知覚過敏 恐水・恐風症状
	■ 鳥インフルエンザ	東南アジア、中東、 アフリカの一部			●	●	農家、市場、動物園などの鳥類との 接触を避ける。手洗い、うがい		○	○	呼吸器症状
人	★ 麻疹	世界各地 （特にアジア・アフリカ）	●	●	●	●			●	○	咳、鼻水、結核充血、発疹
	■ ホリオ	南アジア・アフリカ等		○	○		手洗いの実施		●	○	麻疹
	■ レプトスピラ症	世界各地			●				●	●	悪寒、頭痛、筋痛 腹痛、結核充血
沼や湖河川	■ 住血吸虫症	アジア（揚子江、アフリカ （ナイル川）、中南米など			○	○	汲水（川や湖）での水浴びを控える				発熱、下痢、肝臓、脾臓の腫れ

●：よくみられる症状
○：ときにくみられる症状

●：ワクチンにより予防できる
※予防接種は、発熱期、咽頭炎、
皮膚病、妊娠により、医師と相談の上
受ける。

●：感染する機会が多いので十分に注意
○：感染する機会は少ないが注意が必要
◆：動物と接触する機会が多い場合には十分に注意

★：最も注意しなければいけない病気
■：渡航先、活動内容によって注意しなければいけない病気